

群馬県立玉村高等学校 学校評価一覧表①

(令和3年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	i 全職員共通理解した上で、言葉遣い、挨拶、マナー、身だしなみ等の指導を行い、生徒にはその指導は進路実現に向けて必要不可欠であることをきちんと理解させる。【生指・進路】 ii 生徒に生活の中心を学校に置かせて、授業や行事において生徒が達成感を味わえたり、自信を持てたりするよう、集団とともに個人を大切にした指導を展開する。【教務】	C	C	・69%の生徒が好きだと感じており、昨年度の同時期より6%減少している。 ・生徒への指導に関する共通認識を高めるために、本校の校則や内規を確認する時間を設ける。 ・生徒が生活の中心を学校に置くよう、普段からの声掛けや指導の工夫を行う。	B	B	・79%の生徒が「自分の学校が好きだ」と回答し、一学期からは10%、昨年の結果からは4%増加している。今年度は生徒の問題行動・いじめ件数も少なく、コロナ禍でありながらも調整を重ね、できる範囲で玉高チャレンジプランにおける行事等を実施できたことが、生徒の自己肯定感を高める一因になったのではないかと考えられる。これからは生徒の実情を把握した上で、集団とともに個人を大切にした指導を行い、生徒が学校生活は楽しい・好きだと感じられるような学校運営に取り組んでいきたい。
		(2) ぐんまチャレンジ・ハイスクールとして本校の取組である「基礎基本の充実」「コミュニケーション力の育成」「進路選択力の育成」を意識して、自分のキャリアアップの向上を目指している生徒が70%以上である。	i 進路行事、学校設定教科「教養表現」を中心として、すべての教科において、ぐんまチャレンジ・ハイスクールの「基礎基本の充実」「コミュニケーション力の育成」「進路選択力の育成」を意識した授業展開を図る。【教務・進路】 ii 教養表現の学習内容にビブリオバトルを組み入れ、生徒の表現力を高める指導を行う。 iii 教育課程委員会において、実情にあつた教育課程を検討する。【教務】 iv 生徒についての情報交換や学習内容に関する意見交換を行い、指導形態を工夫していく。【教務】	B	A	・78%の生徒がキャリアアップの向上を目指していると回答しており、昨年度の同時期より1%増加している。生徒たちに玉高チャレンジプランの目標を理解させ、自身の進路実現に向けたキャリアアップに取り組みしていく。	A	A	・84%の生徒から「キャリアアップを目指している」と回答があり、昨年度より7%増加した。授業や行事、普段の生活習慣も含めて、あらゆる場面で、玉高チャレンジプランの目標を意識させ、生徒自身がキャリアアップできたと実感できる指導を行う。
		(3) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ・Ⅱ・Aの習熟度別の授業、社会と情報、情報処理実習、情報表現実習、表現基礎、マナーと表現Ⅰ・Ⅱの「ティ・ティ」(T.T)の授業形態に、生徒の85%が満足している。	i すべての科目において、ICTを活用した効果的な指導や書字・読字に困難を抱える生徒に対する学習支援を実践する。【教務】 ii 「学び直し学習」を取り入れた生徒にとってわかりやすい授業を展開する。【教務】 iii 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向けた職員研修を積極的に行う。【教務】	B	B	・89%の職員がわかりやすい授業ができていると回答し、生徒側の回答も84%であった。今後もICTの効果的な活用、学び直し学習、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を積極的に実施し、生徒にとってわかりやすい授業を目指していく。	C	B	・79%の職員が「わかりやすい授業ができている」と回答した。また、88%の生徒が「授業がわかりやすい」と回答し、昨年度末の結果より2%増加した。書字・読字に困難を抱える生徒に対するICT機器を活用した学習支援の取組も継続できている。今後も校内研修等でICTの効果的な活用方法を含めて職員の指導力の向上を図り、わかりやすい授業を意識した授業改善に努める。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(4) 授業がわかりやすいと感じている生徒が85%以上である。	i 朝の読書推進委員会を開き、朝の読書の推進・改善・充実について検討する。【教務】 ii 定期的に図書通信(Library)を発行して、書籍の紹介等を行う。【教務】 iii 図書館に足を運んでもらえるような環境・雰囲気づくりに力を入れ、生徒の読書意欲を喚起する。【教務】 iv 授業における図書館利用を促進するため、年間利用計画を作成する。【教務】	B	B	・グーグルクラスルーム「玉高図書館」を通じて、図書の紹介や玉高図書館の蔵書検索ができるようになり、生徒への情報発信が充実した。 ・学校司書がビブリオバトルの授業運営に関わり、生徒の読書意欲を喚起する。(1学期実施済み)	B	B	・今年度も分散登校があり、通常登校後も様子には密にならないよう一日ごとに学年をずらして貸出日を設定した期間があった。その結果、年間の図書貸出数は1人当たり5.4冊であったが、通常登校後は例年と変わらない利用状況であった。図書委員会の企画発表や新着図書の内容を載せた特設掲示板を生徒玄関からの導線に設置したり、1・2学年の教養表現の授業と連携してビブリオバトル(本の紹介)を実施した。また、本校HPに図書館活動を随時更新するなど、図書館へ足を運んでもらえるような取り組みを行っている。今後も、Libraryの発行、朝の読書、読書週間を通して、読書意欲を喚起する。
		(5) 図書通信(Library)を定期的に(発行予定12回)に発行し、多くの生徒に図書館を利用してもらう。	i 授業改善を推進し、生徒の基礎学力の向上と定着を図る。【教務】 ii 放課後の補習や課題の指示を積極的に行う。【教務】	A	A	・80%の生徒が学力が身についたと回答している。生徒の学習理解度が深まるよう、生徒の学習方法の改善と教師の授業改善を進める。	A	A	・82%の生徒がこれまで以上に学力が身についたと回答している。生徒に確かな学力を身に付けさせられるよう、課題を与えたり、補習を実施するなど、きめ細やかな指導を行う。
		(6) 学力が身についたと感じている生徒が、75%以上である。	i 日本漢字能力検定・実用英語技能検定・家庭技術検定・全商ビジネス実務検定・全商情報処理検定などの検定試験を校内で行う。【教務】	B	A	・合格率については、漢字検定17%、英語検定0%、家庭技術検定100%、ビジネス実務検定34%であり、全体では61.8%であった。今後も資格取得を目指す、課題や補習の取組を充実させる。	B	B	・のべ受検者数は346名で、合格率については、漢字検定32%、英語検定0%、家庭技術検定100%、ビジネス実務検定40%、情報処理検定33%であり、全体では67.1%であった。今後も資格取得を目指し、意欲的に学習に取り組むよう働きかけが必要である。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(7) 各種検定や資格取得を推奨し、のべ500人の生徒が検定等に挑戦し、50%以上の合格率である。	i 人権やいじめに関するアンケート調査を実施し、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に努める。【教務・生指】 ii 集会時に人権やいじめに関する話題を取り上げる。また、LHR等で人権教育や道徳教育を実施する。【教務・生指・道徳教育推進】	B	B	・アンケート調査結果も含め、生徒の変化や危険信号を見逃さないようアンテナを高く保ち、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に努める。 ・いじめ認知は軽微な事案が2件、それぞれ解消に向けて継続支援中である。	B	B	・人権やいじめに関するアンケートを全校では年2回実施した。また、いじめの認知件数は4件あり、速やかに対応を行った。一定期間の指導・観察を行い、該当生徒・保護者への確認の上、解消認定は3件となった。次年度もアンケートの実施や生徒への声掛けを積極的に行い、生徒の実態を把握し、いじめの未然防止、早期発見及び早期対応に努める。
		(8) いじめの防止や早期発見に努め、いじめの解消率が100%である。	i 玄関指導の重要性を理解し、継続して実施する。【生指】 ii 風紀委員、生徒会本部役員を動員してあいさつ運動を実施し、基本的な生活習慣の確立を図る。【生指】 iii 生徒会の組織を中心に参加生徒の呼びかけを行う。【保健施設】 iv 定期試験期間を利用し、生徒の参加を促す。【保健施設】	B	B	・計画通り実施している。	B	B	・新型コロナ対応のための朝の一斉検温指導時以外は、風紀委員会、生徒会本部役員と職員合同で、あいさつ運動を実施することができた。今後も継続していきたい。
		(9) 朝の玄関指導、あいさつ運動を1学期に60日、2学期に70日、3学期に50日以上実施する。	i 遅刻時の家庭連絡を徹底する。【学年】 ii 遅刻・欠席グラフの作成を通じて、指導の機会を増やす。【生指・学年】 iii 学年指導や成績並びに生活改善保護者会を開催し、生徒への反省と改善を支援する。【学年・教務・生指】	A	A	・1学期の遅刻率は1.1%であった。昨年度の同時期より0.1%程度減少している。今後も効果的な指導を継続する。	A	A	・1月までの遅刻率は1.2%であり、昨年度の同時期より0.1%程度減少している。今年度も遅刻に関して個別の指導を丁寧に行い、多くの常習生徒の遅刻を改善することができ、目標値もクリアすることもできた。
		(10) 情報教育を目的とした花いっぱい運動を1・2学期に1回ずつ実施する。	i HRにおけるマナー指導を実施する。【学年】 ii 全職員で入室時の指導を徹底する。【生指・進路】	B	B	・職員の肯定的な回答90%に対して、生徒側の肯定的な回答は91%であった。昨年度と比較しても大きく改善している。通常登校ができ、指導場が通常に戻せたことにより取組が定着してきたものと考えられる。	B	B	・89%の生徒、85%の教員が、「職員室に入室する際に服装を正し、適切な声量で用件を伝えることができた」と回答している。用件を伝えることを生徒に意識させて4年目となり、取組が定着してきたと考えられる。
		(11) 1日の遅刻率を1.5%以下にする。	i 各学年の行事として年1回実施する。【学年・保健施設】	B	B	・計画通り実施している。	B	B	・校外周辺美化活動を計画どおり実施した。今後も継続していきたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	(12) 職員室に入室する際に服装を正し、適切な声量で用件を伝えることができる生徒が90%以上である。	i 総合・LHRの時間を利用して、在り方生き方の指導や職業観の育成につながる講演会や学習会を実施する。【学年・進路】	B	B	・コロナ禍ではあるが、リモートを活用することで計画通り実施している。	B	B	・生徒の進路意識の向上のため、外部講師による「講演会」や「模擬面接」等の進路行事を、リモートを活用することで実施することができた。今後とも工夫を重ね、できる限り開催していきたい。
		(13) 学校周辺美化活動(校外美化活動を含む)を学期に1回以上実施する。	i 実情に即した進路情報提供と意識啓発を目的とした「進路通信」を毎月発行する。【進路】 ii 効果的な進路情報の提供と生徒の進路課題の共有化を図る。【進路】 iii 情報交換会や成績会議において情報交換を行う。【教務・学年】 iv 担任による二者面談・三者面談を充実させる。【学年・進路】 v 進路意識を高めるための進路行事を実施する。【進路】	B	B	・進路通信が役立っているという回答が82%であった。今後も保護者に読んでもらえる通信の作成を目指す。	B	B	・進路通信の定期的な発行を目指して、生徒や保護者の進路意識の向上を図るため、効果的な最新の情報を提供できるように心掛けた。
		(14) キャリア教育につながるよう、外部機関や外部人材を活用した進路行事を各学年とも4回は実施する。	i 体験的学習やグループ学習、全体発表などの授業形態を取り入れることにより、進路行事へ参加する意識を高める。【進路・学年】	B	A	・多くの生徒が進路行事に満足しており、保護者の94%が進路実現を支援されていると回答をしている。今後も生徒の実態把握に努め、進路実現に向けて支援を行う。	B	A	・93%の保護者が「玉村高校は学校をあげて、生徒の進路実現を支援している」と回答している。情報交換会や成績会議等における情報共有を更に進めるとともに、担任による二者面談・三者面談などを通して生徒・保護者の進路希望の把握に努めていきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(15) 進路通信を定期的に発行する。(発行予定12回)	i 1・3学期にオープンスクールを実施し、玉村町回覧板に掲載するなど、広報活動を行う。【教務】 ii 11月の学校説明会の時に公開授業を実施する。【教務】	D	D	・新型コロナ対策のため、PTA総会時の公開授業は中止となり、オープンスクールも中止となった。11月の第2回学校説明会では、公開授業を実施する予定である。	B	B	・8月、11月の学校説明会は参加者も増加し、1月のオープンスクールも例年より多くの中学生が参加してくれた。前期入学者選抜では、2.20倍と近年の最高倍率となった。やはり、学校公開の企画で本校の様子を実際に見てもらうことがとても重要であることがわかった。
		(16) 学校をあげて進路実現を支援していると感じている生徒が80%以上である。	i 本校の行事や部活動実績について、終了次第なるべく早くアップロードを行う。【教務】 ii Webページに各種案内を掲載する。【教務】	B	B	・1学期は基本情報、学校行事等について、月4回程度のペースでWebページを更新した。今後は、部活動や入試情報について、内容を充実させていく。	B	A	・学校行事、各種学校通信、オンライン学校説明会、図書館施設案内、新型コロナ対策、その他情報の掲載等、ホームページの更新を計画通り実施できた。15%の保護者が見たことはないという回答があるが、見たことのある保護者の95%が必要な情報が掲載されていると回答した。
		(17) 進路行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が85%以上である。	i 入学式後に1学年の保護者会を実施する。【1学年】 ii 1学期、進路や卒業準備に関する保護者会を実施する。【3学年】 iii 2学期、修学旅行に関する保護者会を実施する。【2学年】	B	B	・90%の生徒が積極的に参加したと回答した。今後とも行事についての事前指導、実施後の振り返りを充実させていく。	B	A	・コロナ禍ではあったが3密を避けた計画のもと、各学年の保護者会の参加率は90%以上であった。
		(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施する。	i 校務委員会で分担し、学期毎に学校通信(よろこぶ通信)を発行し、地域への回覧を依頼する。【教務】	B	B	・地域への回覧は中止となっているが、計画通り発行している。	B	B	・予定通り3回発行した。新型コロナウイルス感染症対策のため玉村町の回覧板で回覧はできなかったが、Webページを通じて情報発信を行うことができた。
		(19) 本校の教育活動を地域・保護者・中学生等に理解してもらうため、Webページの充実を目指し、更新を月に4回行う。	i 学校評価アンケートや進路希望調査等、グーグルフォームやスタディーサプリを活用することで業務の効率化を図る。【教務・進路・渉外・保健】	B	B	・年度当初計画したが、学年単位以上でインターネットにアクセスできないため、小規模や分散の形態で実施した。	B	B	・全校生徒がアクセスできる環境が整い、グーグルクラスルーム、フォームを活用してアンケートを実施することができた。次年度も活用を拡大していきたい。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	9 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(20) 学年保護者会等に参加している保護者が80%以上である。	i 職員用のグーグルクラスルームを作成し、各自のアカウントを用いて共有フォルダ内の資料を閲覧する形態で職員会議を行い、業務の効率化とペーパーレス化を図る。【教務】	B	B	・5月の第3回校務委員会、職員会議から共有フォルダ内の資料を閲覧する形態で会議を実施している。	B	B	・朝会、校務委員会、職員会議のほとんどの資料を、ペーパーレス化することができた。一方で、資料内容にきちんと目を通す意識が必要であると感じている。
		(21) 学校通信を各学期ごとに発行する。		B	B		B	B	
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	9 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	(22) オンラインによるアンケートを10回以上実施している。		B	B		B	B	
		(23) ペーパーレスの職員会議を10回以上実施している。		B	B		B	B	